

◆◆◆ 2016ニューイヤーコンサート ◆◆◆

エフゲニー・ザラフィアンツ

ピアノリサイタル

～スタインウェイの魅力を探る～

Program

- 【1部】 シューマン
 ・アラバスク ハ長調 作品18
 ・フモレスケ 変ロ長調 作品20
 ～休憩～
- 【2部】 ショパン
 ・ワルツ 第7番 嬰ハ短調 作品64-2
 ・幻想曲 へ短調 作品49
 ・スケルツォ 第1番 口短調 作品20
 ・スケルツォ 第2番 変ロ短調 作品31

※曲目は変更になる場合もございます。予めご了承ください。



※当日は木目のフルコンを使用します。

2016年1月11日(月・祝)

16:00開演(15:30開場)

●会場/高崎「シューベルトサロン」
 高崎市問屋町西1-3-10 (ピアノプラザ群馬高崎本店内)



●入場料/前売 **3,000円** (当日**3,500円**)
 (全席自由・ドリンクサービス付)
 ※未就学のお客様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

●主催 ピアノプラザ群馬・シュバイツァ音楽教室
 ●後援 上毛新聞社・株式会社 エフエム群馬・ラジオ高崎

プレイガイド

《高崎》ピアノプラザ群馬高崎本店 TEL027-363-1262
 《伊勢崎》ピアノプラザ群馬いせさき店 TEL0270-40-6311

エフゲニー・ザラフィアンツ (Evgeny Zarafiants)

1959年ロシア共和国のノヴォシビルスクに生まれる。音楽家の両親のもとで育ち、6歳からピアノを父に学び、8歳からはモスクワ音楽院附属中央音楽学校でエレナ・ホヴェンに師事、幼少より天才的な才能を発揮し、1975年以降グネーシン音楽学校・オルスク音楽院・グリムカ音楽院・大学院とすべて首席で卒業。この間、全ロシアコンクール・ラフマニノフコンクールなどで入賞。その後、1993年ボゴレリッチ国際コンクール(アメリカのカリフォルニア州パサデナ)で第2位となった以降、住居はクロアチア共和国に構え、ミルコヴィッチアカデミー教授を経てザグレブ国立音楽院で教鞭をとっていた。ドイツや日本を中心に演奏活動を行っている。日本には1997年秋以来、度々来日し、東京をはじめ全国各地でコンサートや公開講座を開催している。2004年ロシア・フィルハーモニー交響楽団(アレクサンドル・ペデルニコフ指揮)と、チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番を共演する。2005年チェコ・ブラハ管弦楽団(武藤英明指揮)と、ベートーヴェンピアノ協奏曲第3番を共演。また、2006年ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団(ヨハネス・ヴィルトナー指揮)とラフマニノフピアノ協奏曲第2番を共演し、室内楽の分野でも力を発揮し、2007年ザグレブ弦楽四重奏団とシューマン、ブラームスのピアノ五重奏も絶賛を浴びた。2007年には来日10周年記念イベントとして東京紀尾井ホールにてリサイタル、スーパーワールドオーケストラとベートーヴェンピアノ協奏曲第3番をはじめ、各地で公演し益々巨匠性を発揮し続けている。最近の特筆すべき演奏は、2011年12月上野文化会館でのリサイタル(リサイターにちなんで)および2012年、2013年、神戸朝日ホールでのリサイタルで、さらにザラフィアンツの深く、幻想的な音の世界が絶賛され「稀に見るピアノの詩人」との誉れ高い。レコーディングも活発に行っており、日本ではALMLレコード(コジマ録音)より19枚のCDをリリース。毎回、レコード芸術(月刊誌)では特選盤をはじめ、高い評価を受けている。さらに、ナクソス(NAXOS)からも3枚のCDをリリースし、特にスクリャーピン前奏曲全集の中の「前奏曲第1集」は、イギリス・グラモフォン誌の月間ベスト10に選ばれるなど、常に注目を浴びている。2005年音楽の友での21世紀の名演奏家事典にて、世界の注目されるピアニスト70人に入るなど、ザラフィアンツの聴衆の魂を揺さぶる精神性の高い演奏とレパートリーの広さで、毎回大きな感動を与え、熱烈なファンを増やし続けている。芸術性高いピアノ指導も高く評価され2015年4月から愛知県立芸術大学のピアノ科で客員教授として招聘されている。

【お問い合わせ】ピアノプラザ群馬コンサート事業部：TEL.027-363-1262